

人文書・歴史書 ご担当様

2025年9月初刊行
旬予定

山川出版社
新刊のご案内

日本史
リブレット



空也と源信

地獄と極楽を説いた聖人・学僧

岡野浩二 / 著



人びとに念仏を勧めた空也と、『往生要集』を書いた源信は、およそ一世代離れているが、市中の聖、比叡山の学僧という立場から、それぞれ浄土信仰を世に広めた。二人は、来世の地獄・極楽を意識して善行をなすよう説いたが、その存在意義は、浄土教の発達にとどまらない。教理と実践、国家の政策や教団の組織、二人に傾倒した僧俗が生み出した信仰のかたちや価値観に目を向けることで、平安仏教の展開を再検討しよう。

目次

浄土教中心史観と空也・源信

①聖人・空也

空也と文人貴族／空也の諸国遍歴／平安京の貧病者・囚人・異類／信者集団との造像図絵／道俗貴賤との大般若經書寫／西光寺の創建／極楽往生の和歌／死者追善と閻魔王への牒状／空也の入滅

②空也のもたらした仏教世界

金鼓を打ち鳴らす空也／聖人と阿弥陀聖／六波羅蜜寺の仏事法会／天台別院と京中堂舎／鹿角の杖を握る阿弥陀聖

③学僧・源信

源信の出自／良源の比叡山中興／広学堅義と定心房四季講／『往生要集』の執筆／『往生要集』の特質／『往生要集』の遺宋／『因明論疏四相違略註釈』の遺宋／宋天台僧の源清への応答／『天台宗疑問二十七条』

④源信と官僧・遁世僧

慶滋保胤の出家／飯室安楽谷の念仏会／二十五三昧会の発願文／二十五三昧会の起請と過去帳／官僧としての嚴久／「官僧」「遁世」を遍歴する源信／性空・増賀・千観の立場／遁世への憧憬

⑤極楽へ誘う迎講・来迎図・和讃

『一乗要決』／靈山院釈迦講／華台院の迎講と来迎図／覚超の修善講、寛印の迎講／来迎図と和讃／法然・親鸞との相違

空也・源信と平安仏教の展開

A5 変形判 並製 120 頁

ISBN:978-4-634-54818-3 C1321

定価 880 円(本体 800 円+税)

ご注文冊数

番線印

冊

新刊受注締切
8/20(水)

[ご担当名: 様]

※新刊配本に間に合いますよう、お早めのご注文をお願いいたします。



山川出版社

TEL:03-3293-8131

※ご注文は、右記まで
FAXをお願い致します。

FAX:03-3292-6469